

小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>算数</p>	<p>委員長名 杉本 浩一</p>
<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(火)に、稚内市役所正庁で開催し、算数小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(水)から7月13日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編集趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回選定委員会を7月14日(月)に、稚内市役所正庁で開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、大日本、学図、教出、啓林館、日文の6者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・配列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮」について</p> <p>(4) 「その他」</p>	
<p>調査研究に当たった際の配慮事項</p>	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱い内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容、実生活・実社会に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・配列、分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・配列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
<p>少数意見その他</p>	<p></p>	

様式2

教科名		算 数				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東書	新しい算数	2	大日本	たのしい算数
取扱内容	<p>○数と計算については、数直線などを系統的に用いて、数の意味や表し方、四則計算の意味や筆算の原理を理解し、身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○量と測定については、体験的な活動を通して、単位の意味や測定の原理を理解し、量についての感覚を豊かに育めるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、身の回りの形への着目や図形の性質を説明する活動を通して、図形についての豊かな感覚を育成し、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○数量関係については、3領域との関連・活用を図りながら、関数的な考えを育んでいけるよう工夫されている。</p> <p>○「力をつけるもんだい」「おもしろ問題にチャレンジ」などの補充・発展的な学習を単元末などに位置づけるなど知識・技能の習得、活用、探求ができるよう工夫されている。</p>			<p>○数と計算については、数の意味や表し方に対する理解と数に対する感覚を深め、四則計算の意味や計算を理解し、身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○量と測定については、実測などの活動を通して、量の意味やその単位、測定について理解を深め、量についての感覚を豊かに育めるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、操作活動を通して、個々の図形概念形成を図り、図形についての豊かな感覚を育成し、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○数量関係については、関数的な考え方の有用さと、式に表すよさを発達段階に即してとらえられるよう工夫されている。</p> <p>○「まとめの練習」「算数たまたまぼこ」などの補充・発展的な学習を単元末などに位置づけるなど知識・技能の習得、活用、探求ができるよう工夫されている。</p>		
内容の構成・配列・分量等	<p>○内容の構成については、主体的に学習を見直し、振り返られるようにするとともに、算数的活動を通して、式・図などの数学的な表現を養い、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○「ふりかえりコーナー」など、発達や学年に応じた系統的・段階的反復によって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の配列については、小数第三位までの加法・減法の学習の後に、同分母分数の加法・減法を扱うなど、児童の発達段階に応じて、単元の前後に、関連する学習内容が取り扱われ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、領域のバランスを踏まえ、単元数・分量ともに適切である。</p>			<p>○内容の構成については、単元全体を見通して主体的に学習のできるようにするとともに、算数的活動を通して、式・図などの数学的な表現を養い、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○「チェック アンド トライ」など、発達や学年に応じた系統的・段階的反復によって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の配列については、小数の乗法・除法の学習の後に、異分母分数の加法・減法を扱うなど、児童の発達段階に応じて、単元の前後に、関連する学習内容が取り扱われ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、領域のバランスを踏まえ、単元数・分量ともに適切である。</p>		
使用上の配慮	<p>○2年生以上に「考えよう伝えよう」のコーナーを設け、説明の仕方やノートの取り方などを載せ、問題解決的な学習を通して、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○算数的活動が意識され、折り込みの教具にはミシン目を入れるなど、使いやすい工夫が施され、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○単元内の適切な箇所「説明しましょう」の指示文を設け、日々の通常の授業において、効果的・効率的に言語活動が取り入れられるよう使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○キャラクターの解き方の例示により考え方の方向性を示し、問題解決の手がかりをつかませることで、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○導入時や学習後に、日常生活場面と対照して、問題をどのように解決していけばよいかという意識を持てるように配慮するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○各学年の巻末に「算数の学び方」のページを設け、授業の流れに沿ったノートの書き方を例示し、効率的に展開できるよう使用上の便宜が図られている。</p>		
その他	<p>○各学年の各単元で脚注に中学数学との関連を示したり、6年巻末で数学の内容を取り上げたりするなどしている。</p> <p>○色覚特性の専門チェックを受け、色調や配色など細部にも配慮している。</p>			<p>○6年生では、中学校数学関係者への調査に基づくまとめ問題や中学校の内容に触れられる問題を設定している。</p> <p>○色覚の個人差に配慮し、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認定を取得予定である。</p>		

様式 2

教科名		算 数				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		学 図	みんなと学ぶ 小学校 算数	1 1	教 出	小学算数
取 扱 内 容	<p>○数と計算については、具体的な問題場面を設定し、算数的活動を通して、理解を深め、身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○量と測定については、体験的・操作的な活動を通して、数や量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、具体的な操作活動を通し、図形についての豊かな感覚を育成し、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○数量関係については、身近な素材を取り上げ、考察的な活動を通して、関数的な考え方を育ていけるよう工夫されている。</p> <p>○「補充問題」「チャレンジ」などの補充・発展的な学習を単元末などに位置づけるなど知識・技能の習得、活用、探求ができるよう工夫されている。</p>			<p>○数と計算については、線分図や数直線を使って、式の根拠や計算の仕方を考える活動を通して、理解を深め、身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○量と測定については、身の回りの量を予想したり、実測したり活動を通して、量の大きさについての感覚を豊かにするよう工夫されている。</p> <p>○図形については、図形の性質を基に論理的に作図する活動を通して、図形についての豊かな感覚を育成し、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○数量関係については、実生活と関連させながら、関数的な見方・考え方を育ていけるよう工夫されている。</p> <p>○「学習をふりかえろう」「学んだことを使おう」などの補充・発展的な学習を単元末などに位置づけるなど知識・技能の習得、活用、探求ができるよう工夫されている。</p>		
内 容 の 構 成 ・ 配 列 ・ 分 量 等	<p>○内容の構成については、学習のめあてを具体的に提示し、児童の目的意識を高めるとともに、算数的活動を通して、式・図などの数学的な表現を養い、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○「まなびの準備」など、発達や学年に応じた系統的・段階的の反復によって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の配列については、小数の乗法・除法の学習の後に分数の加法・減法を扱うなど、児童の発達段階に応じて、単元の前後に、関連する学習内容が取り扱われ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、領域のバランスを踏まえ、単元数・分量ともに適切である。</p>			<p>○内容の構成については、学習のねらいとまとめを示し、児童の目的意識を高めるとともに、算数的活動を通して、式・図などの数学的な表現を養い、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○「学びのマップ」など、発達や学年に応じた系統的・段階的の反復によって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の配列については、小数の乗法・除法の学習の後に分数の加法・減法を扱うなど、児童の発達段階に応じて、単元の前後に、関連する学習内容が取り扱われ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、領域のバランスを踏まえ、単元数・分量ともに適切である。</p>		
使 用 上 の 配 慮	<p>○身近な事象や教材を写真で紹介したり、帰納・演繹などの考え方の具体例を示したり、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○巻頭に、教科書を効果的に使うための説明ページを設けたり、「ノート名人になろう」でまとめ方を示したり、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○「力だめし」のページで、問題の趣旨を確認して振り返る自己評価欄を設けるとともに、巻末に学習内容を補完する複数の種類の問題を掲載したり、スモールステップ問題を設けたり、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○キャラクターにより既習事項を生かした考えや発展的な見方を示したり、発展的・総合的な見方を育てるコラムを掲載したり、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「ステップアップ算数」ページで、2種類のレベルの問題を設定したり、巻末に前学年までのまとめを示したり、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○表紙の裏に当該学年の学習内容に関連のある建造物や風景などを掲載するとともに、目次に既習の学習内容との関連を示したり、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したり、使用上の便宜が図られている。</p>		
そ の 他	<p>○6年生に別冊を設置し、算数の総復習と中学校の初歩的内容を体験的に学習できるようになっている。</p> <p>○国立特別支援教育総合研究所の指導のもと、色覚特性に配慮し、4年生では点字の紹介を設定している。</p>			<p>○分からない箇所を主体的に学べる復習問題や、数学の素地となる内容に取り組める問題が設定されている。</p> <p>○NPO法人CUDO承認のカラーユニバーサルデザインを取り入れている。</p>		

様式 2

教科名		算 数				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		啓林館	わくわく算数	61	日文	小学算数
取扱内容	<p>○数と計算については、基礎的・基本的な計算能力を確実に身に付け、量感を伴った豊かな数感覚が育成されるよう工夫されている。</p> <p>○量と測定については、身の回りの物や具体物を用いて、数や量の大きさについての感覚を豊かに育めるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、観察などの作業的・体験的な活動通し、図形についての豊かな感覚を育成し、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○数量関係については、数量についての事柄を数、式、表、グラフなどに表現し、数量相互の関係をとらえられるよう工夫されている。</p> <p>○「たしかめましょう」「学びをいかそう」などの補充・発展的な学習を単元末などに位置づけるなど知識・技能の習得、活用、探求ができるよう工夫されている。</p>			<p>○数と計算については、図を用いて数概念の形成を図るとともに、計算方法の段階的な操作図を用いて、理解を深め、身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○量と測定については、見積もりを重視して、身近なものの測定する活動を通して、量についての感覚を豊かに育めるよう工夫されている。</p> <p>○図形については、観察などの作業的・体験的な活動を通して、図形についての豊かな感覚を育成し、理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○数量関係については、具体的な事象から数量をとらえ関係付けるなど、関数的な考え方を生かしていけるよう工夫されている。</p> <p>○「ふくしゅう」「なるほど算数」などの補充・発展的な学習を単元末などに位置づけるなど知識・技能の習得、活用、探求ができるよう工夫されている。</p>		
内容の構成・配列・分量等	<p>○内容の構成については、学習のめあてとまとめを示し、児童が学習の見通しを持てるようにするとともに、算数的活動を通して、式・図などの数学的な表現を養い、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○「ふくしゅう」など、発達や学年に応じた系統的・段階的の反復によって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の配列については、小数の乗法・除法の学習の後に、異分母分数の加法・減法を扱うなど、児童の発達段階に応じて、単元の前後に、関連する学習内容が取り扱われ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、領域のバランスを踏まえ、単元数・分量ともに適切である。</p>			<p>○内容の構成については、単元全体の学習の素地づくりを行い、動機づけを高めるとともに、算数的活動を通して、式・図などの数学的な表現を養い、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○「次の学習のために」など、発達や学年に応じた系統的・段階的の反復によって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○内容の配列については、小数の乗法・除法の学習の後に分数の加法・減法を扱うなど、児童の発達段階に応じて、単元の前後に、関連する学習内容が取り扱われ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、領域のバランスを踏まえ、単元数・分量ともに適切である。</p>		
使用上の配慮	<p>○単元末で学習内容を確認したり、「発見算数島」のページで、児童が興味関心に応じて問題に取り組めるようにしたり、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○新しい単元の学習に取り組みやすいよう「準備」のページを掲載したり、キャラクターによる複数の考え方を取り上げたり、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○巻頭で、教科書の使い方や学習の進め方を掲載するとともに、巻末で学習内容のポイントをまとめたり、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したり、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○単元の始めに既習の内容を確認したり、「いち・に・算活」のページで、活動の手順を示したり、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習に関係のある話題を示すコラムを設けたり、ゲーム的要素のある練習問題を取り上げたり、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○上巻末の「学び方ガイド」で、算数の学習の流れを示すとともに「算数で使いたいことば・考え方」で発表の手順や方法の例を示したり、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したり、使用上の便宜が図られている。</p>		
その他	<p>○4年生以上で中学数学との関連が深い内容にマークをつけたり、6年生で数学の簡単な紹介を設定したりしている。</p> <p>○特別支援教育専門家監修によるインクルーシブ教育への配慮とカラーユニバーサルデザインの採用がなされている。</p>			<p>○6年生では、数学的な考え方やものの捉え方に関わる高度な問題や数学の素地となる内容の紹介を設定している。</p> <p>○読みやすい位置での改行など特別支援教育への配慮し、カラーユニバーサルデザインへの配慮をしている。</p>		